

# 週替わりで一息!!

第2071第82版)

今回の二十四節気・七二候 (にじゅうしせつきしちじゅうにこう)

雨水(うすい) 空から降るものが雪から雨へと変わり、雪解けが始まる頃。山に積もった雪もゆっくりと解け出し、田畑を潤します。昔から、雨水は農耕を始める時期の目安とされてきました。歴便覧には『陽気地上に発し、雪氷とけて雨水となれば也』と。実際は積雪のピークであり、それゆえ、この時節から寒さも峠を越え、衰退し始めると見ることもできる。春一番が吹き、鶯の鳴き声が聞こえ始める地域もある。しかし、本格的な春の訪れにはまだ遠く、大雪が降ったりもします。三寒四温を繰り返しながら、春に向かっていきます。地方によっても違うようですが、この日に雛人形を飾ると良縁に恵まれるといわれています。

和暦コラム歴生活・びお・ウィキペディアより

## 次候「二月二四日～二月二八」霞始靄 (かすみはじめてたなびく) 5

「霞がたなびき始める」霧やもやのため、遠くの山や景色がほのかに現れては消え、山野の情景に趣(おもむき)が加わる頃。春に出る霧を霞(かすみ)と呼び、夜の霞は朧(おぼろ)と呼ばれます。春の霞は「たなびく」、秋の霧は「立ち上る」となります。

20年前の主なニュース (1997年2月25日～1997年3月3日 福井新聞縮刷版より)

- ・京福電鉄存続第三セクター方式見送り・平成12年12月越前本線で列車衝突事故発生・平成13年6月二度目の列車衝突事故発生・10月国へ事業廃止届けを提出・平成15年10月えちぜん鉄道全線開通平成29年4月21日菜の花鑑賞臨時列車丸岡RC加賀RC合同例会

「本日2月17日の金曜日」 《会委員卓話》「乾燥肌の手入れ」乾皮症のはなし・皮膚の乾燥とかゆみ



■皮膚の一番外側にある角質層の水分保持機能が低下すると、皮膚は乾きカサカしかゆみを感じますこれを防ぐには、1保湿剤はべとべとするもの2石けんはすこしだけ3ごしごし洗わない4風呂は2～3日に一回で良い■



2月22日(水)「異業種交流会」企業の方々70名・金融機関11名・あわら市長・坂井市教育長・丸岡RC会長をお迎えして開催された:RC会員20名

今日一枚はこの方報告はこれでいいよ